乗 務 員 指 導 の ポ イ ン ト

１．（旅客貨物共通メニュー）
対応項目：交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法
　　健康管理の重要性

― 飲酒運転はぜったいにさせてはいけない ―

新型コロナ感染症の影響も少し小さくなり、外で飲食する機会も多くなってきました。この状況自体に問題があるわけではないのですが、運転手さんたちも外で飲酒をするケースも増え、飲酒運転の危険性が高まっているところが、管理者としては憂慮される事態です。

【指導のポイント】

1. **飲酒運転をしやすい３つのタイプを理解させます。**
   ①遵法精神が希薄な人
   ②飲酒によって気が変わって（大きくなって）しまう人
   ③アルコール依存症の人

2. **飲酒状態での運転が、いかに危険かを教える努力をしましょう。**
   飲酒によって注意の範囲が狭くなったり、スピード感覚が大きく狂ったりします。
   また、飲酒によって、『動作が優先』される傾向が高いこともわかっており、適切な安全確認などが疎かになった状態での危険運転が心配されます。
3. **『自分だけは大丈夫』という考えは捨てさせましょう。**
   心理学で『自己別在』と言いますが、『何が起きても、自分だけは大丈夫だ』と考える心理状態のことです。

▶アルコール依存の可能性も・・・

繰り返し飲酒運転をするようなドライバーがいたら、アルコール依存症の可能性も考えておかなければなりません。

もっともひどいタイプでは、『飲酒しないと運転できない』という者もいるようです。

営業ナンバーの選任ドライバーでそのような人はいないと思いますが、新しいドライバーさんを雇用するときなどは、普段の飲酒状況も必ず確認するようにしましょう。

▶飲酒運転は悪質・・・

交通事故によって人が大けがをしたとします。事故のひとつは、乗用車の確認不足による出会い頭の事故でした。

もうひとつの事故は、飲酒運転による信号無視が原因の事故でした。

どちらも、同程度のケガですが、加害者に目をむけると、飲酒運転のドライバーの方が圧倒的に悪質です。

なぜなら、一人目のドライバーの確認不足は、いわゆるヒューマンエラーです。しかし、二人目のドライバーが事故を起こした主たる原因である飲酒運転は、意図的なルール違反、不完全行動による結果です。

ヒューマンエラーと意図的なルール違反。
どちらの罪が重いかは、よくお分かりですね。

２．（旅客専用メニュー）
対応項目：事業用自動車の構造上の特性
乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項
旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項

― 令和４年度旅客自動車乗務員教育の補習 ―

今月で、令和４年度（2022 年度）の教育も終了となります。
今回は、国土交通省が指定している『指導内容』の中で、２月までの教育で網羅しきれなかった分野を補習しておきます。

【指導のポイント】
1. **多様化する車両に合わせた運転をする。**
2. **急のつかない運転を心掛ける。乗客の状況を確認して運行する。**

３．（貨物専用メニュー）
対応項目：過積載の危険性

― 過積載の危険と連結車での注意事項 ―

今回は、過積載の危険性の中でも、特に連結車の危険性をクローズアップしました。
単車（連結車でない車両）を運行されている会社さんにとっても、連結車の特性を知っておくことは大切だと思います。

【指導のポイント】
1. **連結車はその構造上、大変転倒しやすいことを教えてください。**
2. **下り坂の先のＴ字路は、スピードが出ている上に、90 度の角度で曲がりますから、少しの重量オーバー、荷物固定の不備でも、大きな事故につながります。**
3. **連結車特有の異常運動についても勉強しておきましょう。**

▶過積載はぜったいにしない、させない。
車両は、最大積載量に合わせて設計されています。つまり、決められた最大積載量を超えて走行することは想定されていませんので、もしも過積載をしてしまうと、シャーシ（躯体）からブレーキ、タイヤにいたるまで、すべてに予定外の負担がかかることになります。
今回も過積載が原因となった事故の事例を扱いました。被害者の方が、どのような気持ちでお亡くなりになったか、全員でよく考え、過積載の防止について話し合う機会にして下さい。

▶連結車特有の異常運動について

①トレーラースイング

　トラクター（牽引車）の動きがクイックで、トレーラー（被牽引車）がその動きに追随できなかった場合に発生します。

　具体的には、トレーラー部分だけがカーブの外側に振られ、その反動で次は反対側に振られ、結果、振り子のようなスイング運動をする状態のことです。

②プラウアウト現象

　トラクターが急にハンドルを切ったようなとき、トレーラーが直進しようとする力でトラクターが押されて発生する現象です。

　トラクターのハンドルが効かない状態でほぼ直進のような動きをしてしまいます。

③ジャックナイフ現象

　プラウアウトのように、トラクター側のハンドルが効かないのではなく、トレーラーに押されて、より強くハンドルの切れた方向にトラクターが回転して、連結点を起点にして『く』の字に折れ曲がってしまう現象です。